国立大学法人琉球大学の中期計画 新旧対照表

現 行	変 更 案	変更理由
VⅢ 重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画	Ⅷ 重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画	本学の未利用地等の売却計画に基づき譲渡
○ 重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画	○ 重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画	を行う。譲渡を行う土地の利用状況や理由は以
1. 重要な財産を譲渡する計画	1. 重要な財産を譲渡する計画	下のとおり。
・南上原地区の土地の一部(沖縄県中頭郡中城村字	・南上原地区の土地の一部(沖縄県中頭郡中城村字	
南上原石橋原486-2 外2筆 面積6,084㎡) を譲渡す	南上原石橋原486-2 外2筆 面積6,084㎡) を譲渡す	
る。	る。	
・汽船(みやまⅡ世)1艇を譲渡する。	・汽船(みやまⅡ世)1艇を譲渡する。	
・石嶺団地の土地の一部(沖縄県那覇市首里石嶺町	・石嶺団地の土地の一部(沖縄県那覇市首里石嶺町	
2丁目96番1 外7筆 面積 20,787.75㎡の内、沖縄県	2丁目96番1 外7筆 面積 20,787.75㎡の内、沖縄県	
那覇市首里石嶺町2丁目96番1 外4筆 面積 1079.12	那覇市首里石嶺町2丁目96番1 外4筆 面積 1079.12	
m ²) を譲渡する。	m ³)を譲渡する。	
	・土地(琉大千原団地敷地)の一部【委託職員駐車場】	・本学敷地と隣接していない飛地のため遊休地
	(沖縄県中頭郡西原町上原二丁目16-9 外 面積	となっていた同地を琉球大学病院の委託職員の
	817.38㎡)を譲渡する。	駐車場として利用することで有効活用を図って
		きたが、令和7年1月に当該病院が宜野湾市西
		普天間に移転することに伴い、利用予定(計画)
		がなくなることから、譲渡を行う。

(沖縄県中頭郡西原町字棚原456-1 面積2,944,68 が、西原町が新たに本学敷地内にポンプ場を m) 及び下水圧送ポンプ場(面積33m)、発電機室 設置したことにより、令和6年度中に使用を (面積45㎡) を譲渡する。

・土地(琉大千原団地敷地)の一部【圧送ポンプ場】 ・本学の圧送ポンプ場として利用していた 停止することになったため、利用予定のない 同地の譲渡を行う。

・土地 (石嶺職員宿舎敷地) の一部 (沖縄県那覇市 |・本学石嶺職員宿舎用地の緑地の一部及び4 首里石嶺町2丁目96番1 面積3,605.93㎡) 及び石嶺 号棟の建っている敷地である。譲渡を検討す 職員宿舎4号棟(面積864㎡)を譲渡する。

るにあたり、関係事業者から、4号棟からの 進入道路部分まで含めなければ譲渡が困難と 指摘されたことから、未使用となっている緑 地の一部と4号棟の敷地を合わせて譲渡を行 う。

- ・土地(琉大千原団地敷地)の一部【南上原飛地】(南 |・本学敷地と隣接していない飛地のため遊休 上原都市計画事業南上原区画整理事業100街区26 地となっていることから、譲渡を行う。 面積317.74㎡)を譲渡する。
- 縄県中頭郡西原町字棚原一丁目8-7 外1 面積 地となっていることから、譲渡を行う。 231.74㎡) を譲渡する。
- ・土地(琉大千原団地敷地)の一部【棚原一丁目】(沖 ・本学敷地と隣接していない飛地のため遊休
- ・土地 (志真志職員宿舎敷地) の一部 (沖縄県宜野 ・本学では有効利用できない土地である。隣 湾市志真志一丁目254-2 面積359.89㎡)を譲渡す 接地主等からの購入可能性の声があること る。_
 - 及び売却可能な土地と考えられるため、譲渡 を行う。

別表1 学部、研究科等及び収容定員

学部	人文社会学部820人国際地域創造学部1,420人教育学部560人理学部800人医学部901人工学部1,440人農学部570人	
	(収容定員の総数) <u>6,511</u> 人	
研究科等	人文社会科学研究科 1 2 人 地域共創研究科 7 0 人 教育学研究科 4 0 人 医学研究科 1 5 0 人 保健学研究科 2 9 人 理工学研究科 3 2 6 人 農学研究科 4 8 人 法務研究科 4 8 人 (収容定員の総数) 4 8 人 修士課程・博士前期課程 4 8 0 人 博士後期課程 5 7 人 一貫制博士課程 1 2 0 人 専門職学位課程 8 8 人	

別表1 学部、研究科等及び収容定員

学部	人文社会学部820人国際地域創造学部1,420人教育学部560人理学部800人医学部912人工学部1,440人農学部570人
	(収容定員の総数) <u>6,522</u> 人
研究科等	人文社会科学研究科1 2 人地域共創研究科7 0 人教育学研究科4 0 人医学研究科1 5 0 人保健学研究科2 9 人理工学研究科3 6 3 人農学研究科7 0 人法務研究科4 8 人
7	(収容定員の総数) 修士課程・博士前期課程 <u>490</u> 人 博士後期課程 <u>84</u> 人 一貫制博士課程 120人 専門職学位課程 88人

(医学部)

・令和7年度までの期間を付した地域の医師確保等の観点からの医学部入学定員の暫定増に伴う収容定員の変更。

(理工学研究科)

- ・(独)大学改革支援・学位授与機構実施事業「大学・高専機能強化支援事業」に選定されたことに伴う研究科(工学専攻)の入学定員の増に伴う収容定員の変更。
- ・研究科 (海洋環境学専攻)の入学定員の増に 伴う収容定員の変更。